

# 知的障害者の自立生活

QOL(生活の質)の向上のために

新潟大学教育人間科学部  
長澤正樹

質の高い生活

QOL

ノーマリゼーション

知的障害のある人も、障害のない人と同じ生活条件で生活することが当たり前であり、権利である

# ノーマリゼーションの具体的施策 (ニリエ)

- 通常の日常生活のリズム
  - 一日のリズム、1週間、1年

年齢相応の対応を

- 発達段階に従った環境

プライバシーの尊重

- ふつうの住居環境

自己選択、自己責任

- 自己決定

- 性(結婚、子どもを持つ権利)

知的障害のある人でも、  
当たり前的人生を送るべきである

QOL

ノーマリゼーション

一人一人のニーズに  
応じた生活、支援  
個性の尊重

個別化

# 知的障害の子どもへの教育

# 知的障害の定義

1. 知能指数(IQ)、70未満
2. 日常生活や行動、振る舞いが同年齢に比べて幼い
3. 1と2両方が当てはまる

知的障害の主な原因としてダウン症が知られている

# 知的障害の子どもへの対応

- 年齢相応の扱い

赤ちゃん扱いは人権侵害

- 知的能力(精神年齢)にあった教え方

- 生活に役立つスキルを教える

(資料)

- できることから始める

- できたときは必ずほめる

成功体験が大事

- 体験を通して教える

一緒に遊ぶ、作るなど  
生活単元学習、作業学習

# ダウン症の子どもへ

- 学力は低いですが精神年齢は遅れていないことがある
- 感受性が高い
- ほめられてのびる
- 音楽やリズム感がすぐれている
- 肥満、感染症に注意

人間味あふれる人たちです

おだてにのってくれます

心臓、体が弱い



# 自閉症の子どもへ

- 知的障害養護学校に40～50%在籍

- 認知の特異性

見え方、聞こえ方、感じ方が特異である

- 認知の特異性にあった教育を

- 視覚的手がかり
- 構造化

個別指導の時間の確保  
生活に役立つスキルを教える

# 学校教育は何を考えるべきか？

- 児童生徒、現在のQOL
- 近い将来のQOL
- 卒業後のQOL

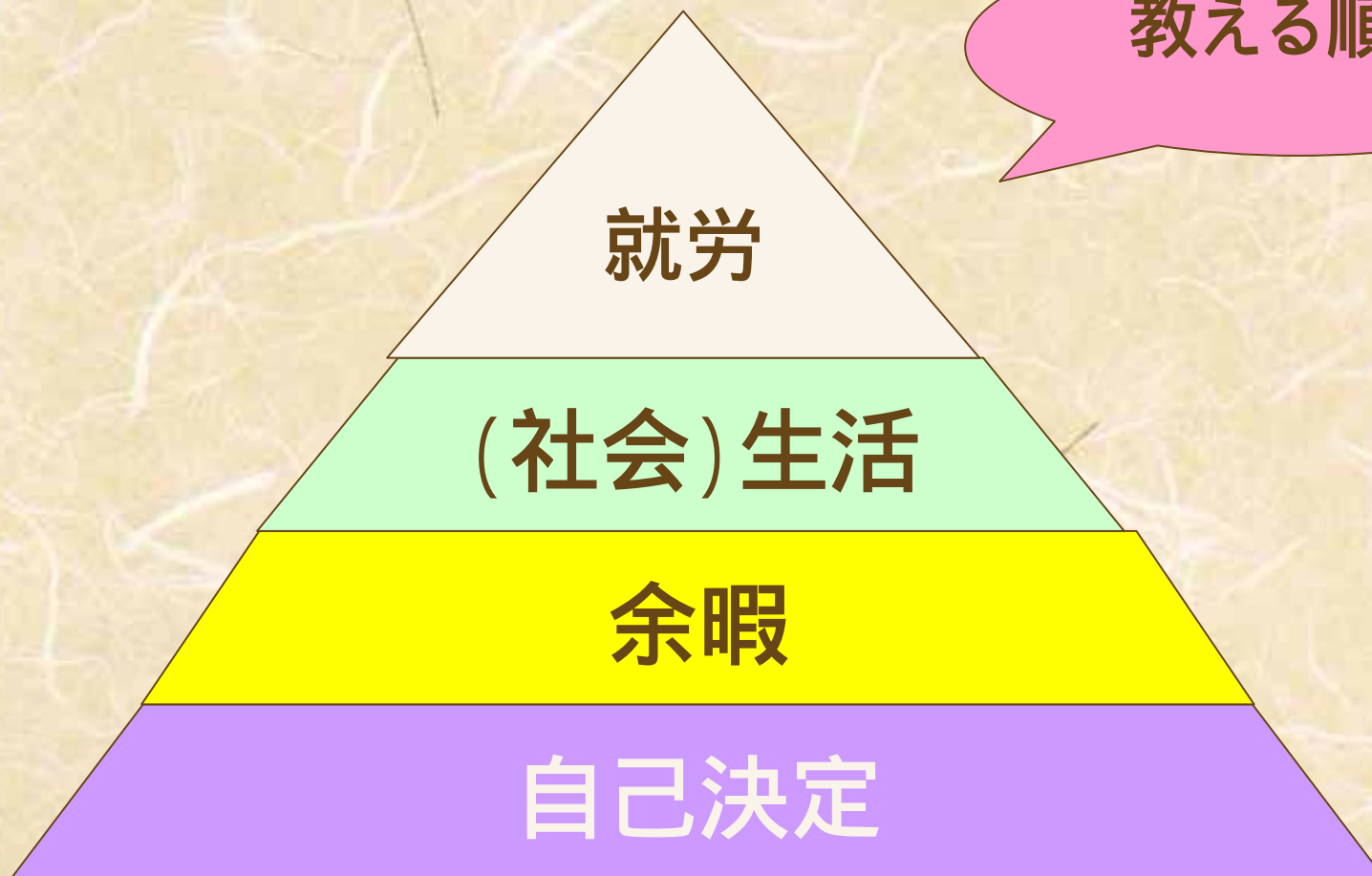
これらに対応したカリキュラム

**自立につながるカリキュラム**

就労  
生活  
余暇

# 知的障害の子どものカリキュラム

教える順番



# 自己決定の指導

自分で選ぶ、決める

「おかわりください」  
「いやです」  
「この服を着ます」

自分で解決する

「教えてください」  
「手伝ってください」  
メモを見ながら自分で仕事をする

自分の気持ちを表現する

「この仕事が好きです」  
「私にこの仕事をさせてください」  
「さんの意見に賛成です」

自分という人間を理解する

得意なこと、苦手なこと  
自分の性格、障害  
自分の人生観

# 自己決定の保障を！

周囲の問題

- 一人の人間として尊重すること
  - 年齢相応であること
- プライバシーの尊重
  - 個室、個人の時間、個人の生活
- 好みの尊重
  - 食事、衣服、趣味

人生の大事な決定に関与することを  
保障すること

**知的障害のある人の生活とは？**

# 現在：完結型の施設

生活

就労

余暇活動

地域

地域との交流があまりない

これから：脱施設化

地域支援の考え方

生活

グループホーム

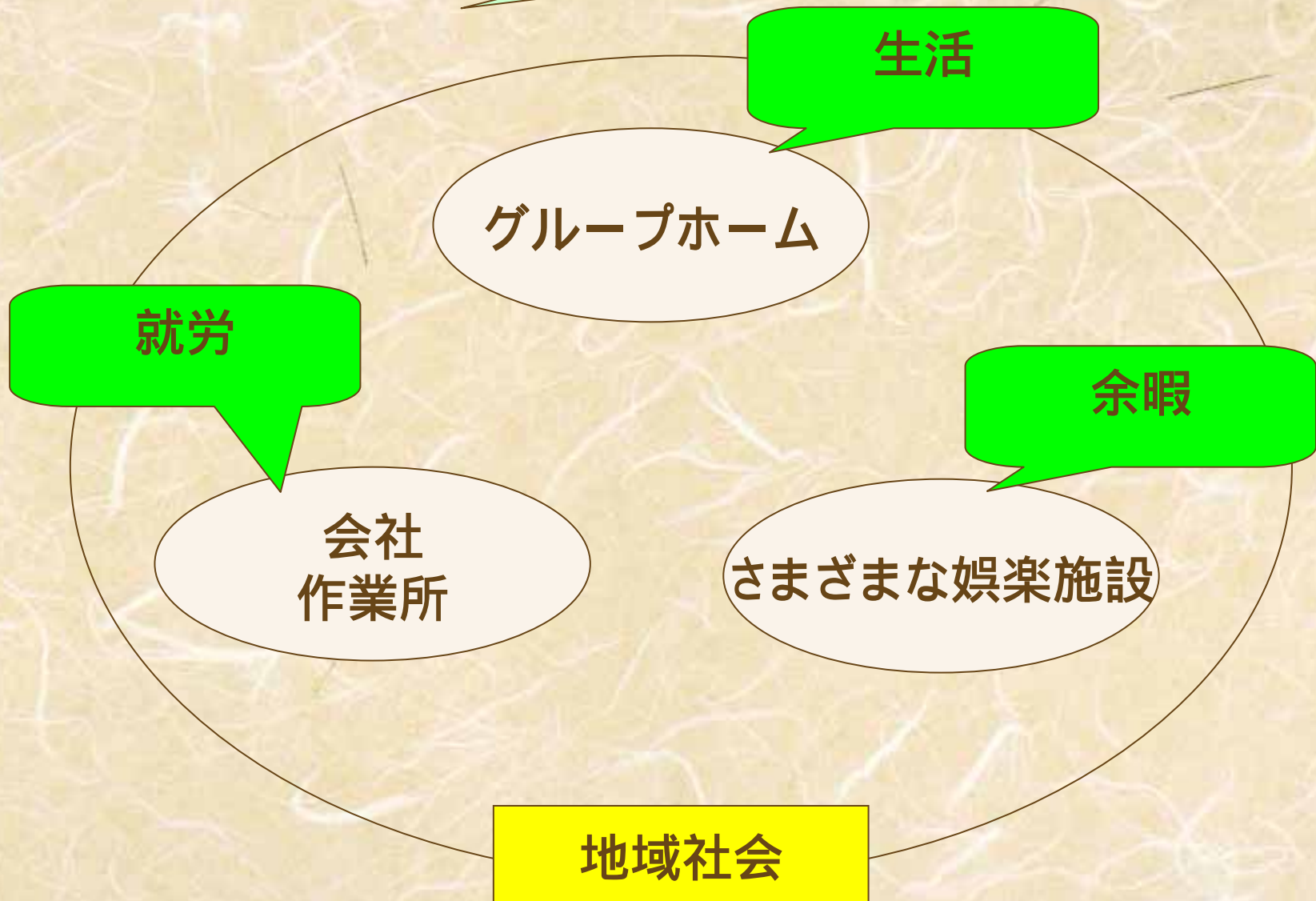
就労

会社  
作業所

余暇

さまざまな娯楽施設

地域社会





# グループホームの現状

# QOL充実のために(先行研究から)

- 健康維持の体制、意識
  - ヘルスケアの機関へのかかわりやすさ
- 自己決定の保障
  - 衣食住で個人の好み、嗜好の保障
- グループホームのとらえ方
  - グループホームは個人の住居

# 個別移行計画の基本的な考え方

将来計画

将来の願い

- ・就労
- ・趣味
- ・生活

早い時期から、将来の自立生活に向けた指導を！

就労体験

就労

体力

買い物

洗濯

健康・安全

家庭生活

余暇

# 個別の教育支援計画(移行計画)

- 将来の生活像を具体化する
- 生活、就労、余暇、(進路)について考える
- それぞれについて、現在教えたい(教えられる)内容をきめる
- 利用したい(利用している)福祉サービス等をきめる

<http://www.ed.niigata-u.ac.jp/~nagasawa/IESP.pdf>

個別の教育支援計画

教育、福祉の連携

住居

就労

自立生活

高等学校

様々な施設

中学校

小学校

幼稚園・保育園

個別の教育支援計画

支援計画

# 就労を考える

- 知的障害のある生徒の就労の現状
  - 厳しい現状、サービス業への転換
- 就労に必要なことは？
  - 身辺自立、生活スキル、対人関係…
- 就労支援の必要性
  - 職業リハビリテーションサービス(就労支援システム、ジョブコーチ)
- 教員の研修

世の中の変化に対応すること  
(介護、清掃関係)

# 企業就業状況の推移

年度	1980	2000	2002	2004
就業率 (%)	57.9	25.5	22.4	23.2

知的障害者の職業訓練として、「新潟テクノスクール」に知的障害者のコース開設(H16年度)



# 障害者への施策

- 障害者対策に関する新長期計画(1993)
  - 実施計画:障害者プラン
- 障害者基本計画(2002)
  - 実施計画:新障害者プラン
  - インクルーシブ、バリアフリー、共生社会
  - 個別の支援計画

# 最近の動向：知的障害養護学校

- ホテルで働く
- ホームヘルパーとして働く
- 事務職に就く
- ゴルフ場のレストランで働く
  
- 資料：発達の遅れ、568

# 就労：まとめ (成功した要因)

- 職場開拓の努力
- 関係機関の連携
- 仕事に結びつく指導プログラム



- 企業の理解と支援

# QOL:まとめ

- 施設から地域社会へ
- 一人一人のニーズを保障する
- 早期からの継続的な支援
- 将来から今を考える
- 自己決定の保障
  - 本人参加と権利擁護
  - 不利益を被らないように！
- よりいっそうの自立を
  - 障害者自立支援法

個別の教育  
支援計画

学期1回は将来を話し合おう

自己決定の指導を  
「やって見せ、いって聞かせてさせ  
てみせ、ほめてやらねば  
人は動かじ」

# 知的障害の人から教えられたこと

「他人から評価されない生き方」

- この生き方を追求した偉人がいる -

# 賢治(1896 ~ 1933)という人

- 岩手県花巻市出身
- 詩人、童話作家、教師、農業改良普及員？
- 1914、妙法蓮華教を読み、宗教に目覚める
- 生前はその存在すら知られていなかった？

# 「虔十公園林」を読む

- 「虔十公園林」を読む
- 虔十という人：知的障害
- 虔十が行ったこと
  - 杉の苗木を植えた
  - 子どもの公園になった

知的な判断がかけていたから公園林が誕生した？  
・知性を越えた「何か」が存在する？

# 「雨ニモマケズ」を読む

- 「ホメラレモセズ クニモサレズ」
- 「サウイウモノニ ワタシハナリタイ」

他人の評価を期待しない、意識しない生き方  
自分を良く見せようとしなくて仕事をする姿

私たち(知的障害ではない者)は  
学ぶことがあるのではないか？



# 研修をお手伝いします

- **長澤研究室**

- <http://www.ed.niigata-u.ac.jp/~nagasawa/>
- メールマガジン

LD、ADHD、アスペルガーへの対応  
研究物  
チャレンジルームの様子

# 図書紹介

改訂増補版

- 「LD・ADHD <ひとりでできる力>を育てる - その指導・支援・個別教育計画作成の実際 - 」
- 「こうすればできる：問題行動マニュアル」
- 詳しい内容、購入方法：川島書店
- <http://kawashima-pb.kazekusa.co.jp/order/order.php3>

# 図書を紹介

- 『特別支援教育を支える行動コンサルテーション』：学苑社

<http://www.gakuensha.co.jp/>

- 『特別支援教育ハンドブック』：第一法規

<http://www.daiichihoki.co.jp/dhweb/home/index.asp>

さらに、「軽度発達障害へのソーシャル  
スキルトレーニング(仮題)」：川島書店  
今年出版予定！